

『自らの生き方を創る子どもの育成』～1人ひとりの個性を生かす教育の推進～

佐野台小学校だより

No.45 2026. 1. 27 校長 川上 誠治

いつもありがとうございます。

感謝しています。



No.43で『子どもは多動で、衝動的だ』
『前頭前野の発達を待つしかありません』と言われても…子どもが問題行動を
起こしていたら待てませんよね！？

叱るべきことは叱る必要があります！！
ただ叱るコツ(?)があります(教師生活32年、先輩たちから教えてもらったコツです！?)！！



(1) 叱ることをはっきりさせておく！！

ボクの経験では子どもはボクが怒っているから反省しているふり(?)をしているだけで何を叱られたのかをわかっていないことがありました！！だから何を叱ったのかをはっきりと伝える必要があります！！ボクの場合は次の5つにすることが多いです！！

『叱ること(とても損な生き方ですよ!!)』

1. あぶないこと！！
2. 人のいやがること！！
3. ずるいこと！！
4. 失礼なこと！！
5. 下品なこと！！



※叱るというより『その行動はとても損な生き方だよ』とボクは伝えるようにしてきました！！

(2) 短く、同じ言葉を繰り返す！！



ボクだけかもしれませんが、叱っているとあれも、これも、それも気になってきます…。そうすると子どもに言い返されて(子どもの中に言い返す天才(?)がいます!!)、何を叱っているのか自分でもわからなくなるときがよくありました！！

そこで叱り方のコツ(?)として短く、同じ言葉を繰り返す！！です！！

『あぶないからダメです！！』

『あぶないからダメです！！』

『あぶないからダメです！！』



こわれたレコードのように繰り返すのです(ブローケンレコード作戦と言います!!)！！

できれば穏やかに(Calm)、近づいて(Close)、静かに(Quiet)が効果的です(CCQ作戦と言います!!)！！

※子どもの中にボクたち大人を興奮させて逃れようとする子どもがいるのでCCQは効果的だと言われています！！

(3) 反省の一瞬を見逃さない！？



『あぶないからダメです！！』と短く、同じ言葉を繰り返していると一瞬、問題行動を止める(反省する)ときが必ずやってきます！！その一瞬を見逃さずに『ホめる(勇気づける)』ことが大切です！！当たり前のことが当たり前にできていることを『ホめる(勇気づける)』を続けていくことが大切です(そして当たり前のことを当たり前に行っている時間を少しずつ伸ばしていけるよう『ホめる(勇気づける)』ことが大切です)！！

